

UDP-シュガー二リン酸加水分解酵素

Cat. No. EXWM-4622

Lot. No. (See product label)

はじめに

概要 活性には二価カチオンが必要です。UDP-糖は最良の基質ですが、他のヌクレオシド-糖二リン酸も類似のKm値を持つ基質として使用されますが、最大速度ははるかに低くなります。したがって、この酵素はADP-糖二リン酸加水分解酵素（EC 3.6.1.21）とは異なる特異性を持っています。このクラスの酵素の中には、5'-ヌクレオチダーゼ（EC 3.1.3.5）活性を持つものもありますが、すべてではありません。

別名 ヌクレオシド二リン酸糖ピロリン酸加水分解酵素; ヌクレオシド二リン酸糖二リン酸加水分解酵素; UDP-糖加水分解酵素; UDP-糖ピロリン酸加水分解酵素

製品情報

形態 液体または凍結乾燥粉末

EC番号 EC 3.6.1.45

CAS登録番号 55354-38-6

反応 UDP-シュガー + H₂O = UMP + α-D-アルドース 1-リン酸

備考 このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5~9週間です。ご要望に応じてカスタム生産が可能です。

保管・発送情報

保存方法 短期保存の場合は+4 °Cで保管してください。長期保存の場合は-20 °C~-80 °Cで保管してください。